

# さびしい悪魔

菊池正和

心のすき間に

いじわるく割り込んでくる

さびしい悪魔

おれはお前が大嫌いだ

お前はそのするどい針先で

今日もおれの内臓を傷つける

お前の刺したその針あとに

冷たいすきま風が吹いている

そのさびしい音楽に

おれの心が葬られる

# 悲しみ

菊池正和

泣き濡れた悲しみに  
あふれ出た  
嘆きの旋律は  
雨だれのように  
川面をたたく  
波うつ水面に  
ピカソの絵のような  
ゆがんだ我が顔が見える  
顔は人ごとのように  
深いためいきを  
つくではないか  
澄み切った水中に  
あのさびしさが  
住み着いて  
おれに手招きしている  
でもそこには  
竜宮もなければ  
美しい人魚もない